



平成23年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年10月28日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 エクセディ

コード番号 7278 URL <http://www.exedy.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 春生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画室長 (氏名) 豊原 浩

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 072-822-1152

平成22年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	97,384	50.2	11,520	688.8	10,945	516.0	6,751	958.1
22年3月期第2四半期	64,816	32.4	1,460	83.8	1,776	80.4	638	87.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	138.97	
22年3月期第2四半期	13.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	158,594	113,709	67.5	2,204.94
22年3月期	153,425	109,095	67.0	2,115.38

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 107,118百万円 22年3月期 102,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		10.00		25.00	35.00
23年3月期		20.00			
23年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	21.2	18,500	70.5	17,700	66.8	11,200	102.7	230.54

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.3「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社 (社名)、 除外 社 (社名)
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	48,593,736株	22年3月期	48,593,736株
期末自己株式数	23年3月期2Q	12,703株	22年3月期	12,450株
期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	48,581,169株	22年3月期2Q	48,581,830株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及びご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) その他注記事項	10
4. 補足情報	11
(ご参考) 所在地別の概況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

国内のエコカー減税・補助金制度をはじめとした各国の諸政策や高成長率を維持する中国経済の牽引により、世界同時不況により大きく落ち込んだ自動車生産台数は、急激に回復してまいりました。当社グループにおいても、A T製品を中心とした受注は、世界同時不況前の状態に戻っております。また、減産対応として取り組んでまいりましたコストダウン活動を継続的に実施してきたことにより、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 973億円（前年同期比 50.2%増）、営業利益 115億円（前年同期比 688.8%増）、経常利益 109億円（前年同期比 516.0%増）、四半期純利益 67億円（前年同期比 958.1%増）となりました。

報告セグメントの種類別の概況は下記のとおりであります。

〔MT（手動変速装置関連事業）〕

国内自動車メーカー及び中国を中心としたアジア地域での受注の増加により、売上高は 288億円（前年同期比 42.1%増）となりました。営業利益は、売上高の増加及びコストダウン活動により、50億円（前年同期比 207.2%増）となりました。

〔A T（自動変速装置関連事業）〕

自動車メーカー及びトランスミッションメーカーからの受注が大幅に増加したことにより、売上高は 581億円（前年同期比 48.9%増）となりました。営業利益は、売上高の増加及びコストダウン活動により 55億円（前年同期は 3億円の営業利益）となりました。

〔その他〕

アジアにおける2輪用クラッチの販売拡大により、売上高は 103億円（前年同期比 90.4%増）となりました。営業利益は、売上高の増加により 12億円（前年同期は 2億円の営業損失）となりました。

所在地別の概況は下記のとおりであります。

〔日本〕

自動車メーカーからのMT・A T製品の受注及びトランスミッションメーカーからのA T製品の受注が大幅に増加したことにより、売上高は 620億円（前年同期比 41.8%増）となりました。営業利益は、売上高の増加とコストダウン活動が大きく寄与し 73億円（前年同期比 686.3%増）となりました。

〔米国〕

自動車メーカーからのA T製品の受注が大幅に増加したことにより、売上高は 148億円（前年同期比 52.4%増）となりました。営業利益は、売上高の増加により 6億円（前年同期は 1億円の営業損失）となりました。

〔アジア・オセアニア〕

自動車メーカーからのMT製品の受注の増加及び2輪用クラッチの販売拡大により、売上高は 191億円（前年同期比 86.4%増）となりました。営業利益は、売上高の大幅増加により 35億円（前年同期比 804.1%増）となりました。

〔その他〕

売上高は 12億円（前年同期比 27.5%増）、営業利益は 1億円（前年同期比 48.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は 1,585億円となり、前連結会計年度末に比べ 51億円増加いたしました。負債は 448億円となり、前連結会計年度末に比べ 5億円増加いたしました。主な内容は、未払費用の増加 9億円、設備未払金の増加 8億円、支払手形及び買掛金の増加 4億円、納付に伴う未払法人税等の減少 5億円、借入金の減少 8億円であります。純資産は 1,137億円となり、前連結会計年度末に比べ 46億円増加いたしました。主な内容は、利益剰余金の増加 55億円（四半期純利益による増加 67億円、剰余金の処分（配当金）による減少 12億円）、為替換算調整勘定の減少 12億円であります。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の 67.0%から 67.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローで獲得した資金は、106億円となりました。増加の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益の増加109億円、減価償却費56億円、減少の主な内訳は、法人税等の支払額39億円、売上債権の増加25億円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は、60億円となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出54億円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は、19億円となりました。主な内訳は、配当金の支払額12億円、借入金の返済による支出6億円であります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末と比べ23億円増加し、279億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降、国内においては、エコカー補助金の打ち切りに伴う自動車生産台数の減少が見込まれますが、アジアを中心とした海外が堅調に推移すると思われることから、通期については平成22年7月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

・たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は僅少であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,493	26,242
受取手形及び売掛金	35,507	33,405
商品及び製品	7,230	7,312
仕掛品	3,497	3,458
原材料及び貯蔵品	6,399	5,684
繰延税金資産	2,737	2,416
短期貸付金	623	638
その他	2,497	2,406
貸倒引当金	△79	△86
流動資産合計	86,907	81,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,137	20,807
機械装置及び運搬具（純額）	28,344	30,105
土地	8,010	8,274
建設仮勘定	4,069	2,051
その他（純額）	3,570	3,746
有形固定資産合計	64,132	64,986
無形固定資産	1,417	1,026
投資その他の資産		
投資有価証券	1,876	1,775
長期貸付金	146	123
繰延税金資産	2,414	2,793
その他	1,760	1,301
貸倒引当金	△60	△59
投資その他の資産合計	6,137	5,935
固定資産合計	71,687	71,947
資産合計	158,594	153,425

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,088	14,634
短期借入金	4,078	4,721
未払費用	6,117	5,186
未払法人税等	3,341	3,901
製品保証引当金	1,117	912
その他	4,529	3,554
流動負債合計	34,272	32,910
固定負債		
長期借入金	2,849	3,098
長期未払金	675	767
繰延税金負債	1,117	1,068
退職給付引当金	5,573	6,105
役員退職慰労引当金	144	155
資産除去債務	23	—
その他	227	222
固定負債合計	10,612	11,418
負債合計	44,884	44,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,284	8,284
資本剰余金	7,540	7,540
利益剰余金	97,677	92,140
自己株式	△39	△39
株主資本合計	113,462	107,926
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	369	319
為替換算調整勘定	△6,714	△5,477
評価・換算差額等合計	△6,344	△5,158
少数株主持分	6,591	6,327
純資産合計	113,709	109,095
負債純資産合計	158,594	153,425

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
売上高	64,816	97,384
売上原価	54,055	74,774
売上総利益	10,761	22,609
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,593	2,446
製品保証引当金繰入額	332	260
役員報酬及び給料手当	2,460	2,814
退職給付費用	144	33
役員退職慰労引当金繰入額	39	86
研究開発費	2,095	2,249
その他	2,634	3,198
販売費及び一般管理費合計	9,300	11,088
営業利益	1,460	11,520
営業外収益		
受取利息	30	31
受取配当金	9	9
為替差益	132	—
持分法による投資利益	5	28
その他	445	313
営業外収益合計	624	384
営業外費用		
支払利息	166	186
為替差損	—	515
その他	141	257
営業外費用合計	307	959
経常利益	1,776	10,945
特別利益		
貸倒引当金戻入額	27	—
製品保証引当金戻入額	106	—
特別利益合計	134	—
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	1,910	10,945
法人税、住民税及び事業税	1,229	3,445
法人税等調整額	27	60
法人税等合計	1,257	3,506
少数株主損益調整前四半期純利益	—	7,438
少数株主利益	14	687
四半期純利益	638	6,751

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (平成21年7月1日から 平成21年9月30日まで)	当第2四半期連結会計期間 (平成22年7月1日から 平成22年9月30日まで)
売上高	36,268	50,112
売上原価	29,823	38,729
売上総利益	6,444	11,383
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	881	1,318
製品保証引当金繰入額	325	229
役員報酬及び給料手当	1,285	1,407
退職給付費用	70	14
役員退職慰労引当金繰入額	12	73
研究開発費	1,101	1,147
その他	1,325	1,735
販売費及び一般管理費合計	5,001	5,925
営業利益	1,443	5,457
営業外収益		
受取利息	13	18
受取配当金	0	0
為替差益	23	—
持分法による投資利益	10	10
法人税等還付加算金	55	—
その他	168	161
営業外収益合計	273	191
営業外費用		
支払利息	86	91
為替差損	—	289
その他	64	63
営業外費用合計	150	444
経常利益	1,565	5,204
特別利益		
貸倒引当金戻入額	27	—
製品保証引当金戻入額	106	—
特別利益合計	134	—
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	1,699	5,204
法人税、住民税及び事業税	787	1,389
法人税等調整額	215	266
法人税等合計	1,002	1,656
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,547
少数株主利益	67	376
四半期純利益	628	3,171

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,910	10,945
減価償却費	5,738	5,630
固定資産除売却損益(△は益)	24	117
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	△2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	234	△531
受取利息及び受取配当金	△40	△41
支払利息	166	186
売上債権の増減額(△は増加)	△3,069	△2,588
たな卸資産の増減額(△は増加)	△68	△1,062
仕入債務の増減額(△は減少)	914	910
その他	726	1,201
小計	6,517	14,764
利息及び配当金の受取額	93	67
利息の支払額	△158	△181
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	1,206	△3,961
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,658	10,688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△99	△471
定期預金の払戻による収入	4	538
有形固定資産の取得による支出	△4,316	△5,407
有形固定資産の売却による収入	20	75
無形固定資産の取得による支出	△147	△335
投資有価証券の取得による支出	△4	△6
子会社株式の取得による支出	—	△409
貸付けによる支出	△16	△37
貸付金の回収による収入	26	25
その他	△54	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,587	△6,051
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	348	△47
長期借入れによる収入	380	195
長期借入金の返済による支出	△425	△785
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△485	△1,214
少数株主への配当金の支払額	△280	△96
リース債務の返済による支出	△4	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△468	△1,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	218	△356
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,820	2,326
現金及び現金同等物の期首残高	16,335	25,597
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,155	27,923

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

	MT (百万円)	AT (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
外部顧客に対する売上高	20,326	39,056	5,432	64,816	—	64,816
セグメント間の内部売上高 又は振替高	95	735	1,961	2,792	(2,792)	—
計	20,421	39,792	7,394	67,609	(2,792)	64,816
営業利益又は営業損失(△)	1,658	330	△271	1,718	(257)	1,460

(注) 1. 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、製品の種類・市場における用途等を考慮して、自動車用の「MT(手動変速装置関連)」事業、自動車用の「AT(自動変速装置関連)」事業、産業機械用他の「その他」事業に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
MT	クラッチディスク、クラッチカバー、2マスフライホイール
AT	トルクコンバータ、オートマチックトランスミッション部品
その他	パワーシフトトランスミッション・同部品、トルクコンバータ、ブレーキ、リターダ、機械装置、金型治工具、運送請負、2輪用クラッチ

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
外部顧客に対する売上高	43,766	9,764	10,275	1,009	64,816	—	64,816
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,532	100	1,454	2	8,090	(8,090)	—
計	50,299	9,865	11,730	1,011	72,907	(8,090)	64,816
営業利益又は営業損失(△)	936	△153	389	87	1,259	200	1,460

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 「アジア・オセアニア」の区分に属する国は、タイ、マレーシア、中国、インドネシア、ベトナム、豪州、ニュージーランド及びアラブ首長国連邦であります。

3. 「その他」の区分に属する地域は、欧州であります。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

	米国	アジア・ オセアニア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	9,853	13,865	2,476	26,196
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	64,816
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.2	21.4	3.8	40.4

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 「米国」の区分には、メキシコを含めております。

3. 「アジア・オセアニア」の区分に属する主な国は、タイ、マレーシア、中国、インドネシア、ベトナム、豪州、ニュージーランド及びアラブ首長国連邦であります。

4. 「その他」の区分に属する主な地域は、欧州であります。
5. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、自動車用部品製造販売を主たる事業としております。更に、製品機能、技術仕様及び生産構造の違いにより「手動変速装置」「自動変速装置」の2つに大別し、本社を中心にグループ内部で連携をとりながら取扱製品について国内及び海外における戦略を立案し、事業活動を展開しております。また、これらについては、当社グループ各社において分離された財務情報が入手可能であり、本社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

したがって、当社グループは、マニュアルクラッチを生産する「MT（自動車用手動変速装置関連事業）」、自動変速装置・同部品を生産する「AT（自動車用自動変速装置関連事業）」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）

	報告セグメント			その他 (百万円) (注1)	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注3)
	MT (百万円)	AT (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
外部顧客への売上高	28,893	58,147	87,040	10,343	97,384	—	97,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	199	1,300	1,500	3,926	5,426	(5,426)	—
計	29,093	59,448	88,541	14,269	102,810	(5,426)	97,384
セグメント利益	5,096	5,524	10,620	1,226	11,847	(326)	11,520

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械用駆動伝導装置事業、2輪用クラッチ事業、運送業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 △326百万円には、セグメント間取引消去 165百万円、のれんの償却額 △64百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △414百万円、その他の調整額 △12百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない新製品開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

著しい変動がないため、記載していません。

(7) その他注記事項

特記事項はありません。

4. 補足情報

(ご参考)

所在地別の概況は下記のとおりであります。

・当第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	31,716	7,695	10,029	670	50,112	-	50,112
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,519	68	2,004	13	8,605	(8,605)	-
計	38,236	7,763	12,034	684	58,717	(8,605)	50,112
営業利益	3,387	260	1,806	51	5,505	(47)	5,457

・当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	62,062	14,884	19,150	1,286	97,384	-	97,384
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,230	144	4,006	16	15,397	(15,397)	-
計	73,292	15,029	23,156	1,303	112,781	(15,397)	97,384
営業利益	7,366	663	3,521	129	11,681	(160)	11,520

(注) 上記は、従来の「所在地別セグメント情報」と同様の基準及び方法で作成されたものであり、あくまで参考情報としての記載であります。